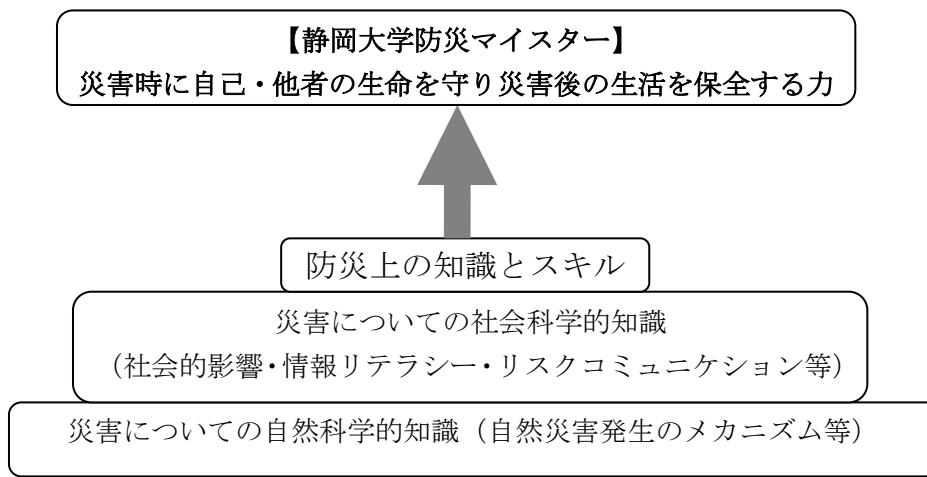


静岡大学防災マイスター称号とその取得について
(ガイダンス資料 平成 29 年度・浜松キャンパス)

【趣旨】

東海大地震の想定域にある静岡大学では、防災総合センターを設立し、学生の防災力向上や防災に関する研究・地域連携に務めてきました。これまでも共通科目として「新入生セミナー（防災）」、学際科目「地震防災」、「地域社会と災害」等を提供してきましたが、十分体系的なものにはなっていませんでした。

先の阪神・淡路大震災、東北地方太平洋沖地震等を見ても分かるように、自然災害被害を減じるためには、ハード面のみならずソフト面の充実が欠かせず、教育機関が果たす役割は大きいものがあります。そこで、本学では、平成 23 年度より防災マイスター制度を立ち上げ、一定レベルの防災知識を備えた学生を養成して社会に送り出すこととしました。平成 28 年度までに 69 名が「静岡大学防災マイスター」の称号を得ました。また、平成 24 年度より称号取得者が一定条件を満たすことによって、静岡県知事認証「静岡県ふじのくに防災マイスター※」の称号を取得することが可能になり、現在 63 名が称号を得ています。(※2017 年 4 月現在の名称)



【到達目標】

静岡県でとりわけ危惧される東海地震をはじめとする自然災害に対する科学的な知識を有し、それに基づいて災害時に自己や他者の生命と災害後の生活を守る基礎となる防災知識・スキルを獲得すること。また教育学部にあつては、それを学校安全の推進に活用できる能力を獲得することを目標としています。

【称号認定条件】

**必修科目 3 単位、選択必修科目 4 単位以上、選択科目 5 単位以上の合計 12 単位以上の取得と
修了レポートの提出・合格**

【認定までの流れ】

- ① 「静岡大学防災マイスター授与にかかる単位取得計画書（様式 1）」と申請者登録用紙の提出
(平成 29 年 4 月 28 日 (金) 16:00 締切)
- ② 科目の履修
- ③ レポート課題の発表 (10 月上旬)
- ④ 卒業年次に修了レポート提出 (平成 29 年 11 月 30 日 (木) 締切)
- ⑤ 修了レポート返却 (平成 30 年 1 月 5 日 (金))
- ⑥ 修了レポート再提出 (指示がある者のみ・平成 30 年 1 月 31 日 (水) 締切)
- ⑦ 「静岡大学防災マイスター称号授与申請書 (様式 2)」と単位取得確認書類の提出
(平成 29 年 2 月 28 日 (水) 締切)
- ⑧ 認定証の授与 (3 月下旬)

※提出・返却窓口：S-Port 1 階 レポートボックス または 書式を添付してメール
メールアドレス：bousai-hama★shizuoka.ac.jp (★を@にしてください)
上記手続きの詳細は静岡大学防災総合センターHPに順次掲載します。

【平成 29 年度申請者履修科目】

防災マイスター称号取得の対象となる科目は、以下の科目です。認定のためには、必修科目 3 単位、選択必修科目から 4 単位以上、選択科目から 5 単位以上の合計 12 単位以上の取得が必要となります。

学部・学科	科目名	単位	年次	
●必修科目 (3 単位)				
学際	リスクコミュニケーション	2	2 年	小杉素子ほか
学際	防災科学実習 (通年)	1	3 年	小杉素子ほか
●選択必修科目 (4 単位以上)				
全学(浜松)	地震防災	2	3 年	開講あり
学際	静岡県の防災・減災と原子力	2	3 年	開講あり
全学(浜松)	地球科学	2	3 年	開講あり
工学部	安全工学	2	3・4	戸田三津夫
●選択科目 (5 単位以上)				
工・機械工学	材料力学 I (必)	2	1 年	吉田健吾
	確率・統計 (必)	2	2 年	岡本正芳
	環境工学 (選)	2	3 年	齋藤隆之
	経営システム工学 (選)	2	4 年	立岡浩一
工・電気電子	確率統計 <情報エレクトロニクス(必)> <エネルギー・電子制御(選)>	2	2 年	大内浩司 和田忠浩
	数値シミュレーション <情報エレクトロニクス(必)>	3	3 年	Damon Michael Chandler ほか
	経営システム工学 (選)	2	4 年	立岡浩一
	技術者倫理	1	4 年	橋本岳
	センサ工学 <情報エレクトロニクス(選)>	2	4 年	坂田肇
	電気法規および施設管理 <エネルギー・電子制御(選)>	2	4 年	宇佐見英三
	工・電子物質	環境工学 <電子物理デバイス(選)> <材料エネルギー化学(選必)>	2	3 年
経営システム工学 (選)		2	4 年	立岡浩一
数値計算法 <電子物理デバイス(選必)>		2	3 年	伊藤哲
技術者倫理 <材料エネルギー化学(選)>		1	3 年	松本曠世
工・化学バイオ	経営システム工学 (選)	2	4 年	立岡浩一
	技術者倫理 (必)	1	3 年	松本曠世
	移動現象論 I <バイオ応用工学(選)> <環境応用化学(必)>	2	2 年	担当者未定
	環境化学 <環境応用化学(必)>	2	2 年	担当者未定
工・数理システム	確率統計 (選)	2	1 年	佐藤一憲
	リスク分析 (選)	2	3 年	前田恭伸
	経営システム工学 (選)	2	4 年	立岡浩一
	技術者倫理 (選)	1	3 年	関谷和之
情報学部	統計学入門	2	1 年	荒木由布子
	社会モデルおよびシミュレーション (新カリ：社会モデル)	2	2 年	高口鉄平
	社会調査論 (新カリ：社会調査法)	2	1 年	仲正樹
	地理情報システム論 (新カリ：環境・地理情報システム論)	2	2 年	岩崎一孝
	コミュニティ・デザイン論	2	2 年	笹原恵ほか
	web デザイン論	2	2 年	杉山岳弘
	都市デザイン論	2	2 年	西原純
	都市・地域政策論	2	3 年	中澤高師ほか
	自治体行政論	2	3 年	岡田安功ほか
学際	わが街・浜松の市政	2	2 年	中澤高師

●履修上の留意事項

- ・必修科目については、学際科目の「リスクコミュニケーション」および「防災科学実習」を履修すること。
- ・選択必修科目については、全学共通科目「地震防災」、「地球科学」、学際科目「静岡県の防災・減災と原子力」、工学部科目の「安全工学」から4単位以上履修すること。
- ・選択科目については、原則としてそれぞれの学部で設定されている選択科目および学際科目から5単位以上を履修すること。
- ・上記科目で既に履修した単位は、称号認定のための単位として認められる。
- ・科目によっては隔年開講のものがあるので、時間割をよく見て履修計画を立てること。
- ・この一覧表は平成29年度申請者用です。他年度の申請者は自分の申請した年度の一覧表を参照すること。
- ・選択必修科目を4単位を超えて履修した場合、その超えた単位は選択科目の単位とすることができる。
(例：選択必修科目6単位履修の場合は2単位を選択科目の単位とすることができる。)

◆よくある質問：

Q1：防災マイスターの称号を取ると、どんな役に立ちますか

A1：称号を得ることによって、特別な待遇を得られるという形にはなっていませんが、東海地震震源域にある静岡県での生活に役立つ学習内容であることは、間違いありません。

Q2：防災マイスターの称号取得者の進路はどのようになっていますか。

A2：取得者69人の進路は、教職33人、公務員16人、民間企業7人、進学12人、その他1人となっています。

計画書提出手続きについて

Q3：年度の途中で取得を希望した場合、どうすればいいでしょうか。

A3：年度途中で受け付けはしていません。次年度の防災マイスター希望者へのガイダンスに出席し、次年度に希望者として手続きをしてください。

Q4：前年度までに防災マイスターの単位取得計画書を提出しています。今年度何か必要な手続きはありますか。

A4：既に計画書を提出した人については、新たに計画書を提出する必要はありません。ただし、連絡先登録用紙の未提出者、連絡先が変わった方は防災総合センターまでご連絡ください。

Q5：在学生です。履修科目一覧に掲載されている科目で既に取得済みの単位はどのように扱われますか。

A5：一覧に掲載の既習の単位は、防災マイスター称号認定の対象単位として扱います。計画書には取得した年次を記入してください。

Q6：既習の単位の担当教員が一覧の同名の科目の担当教員と違いますが、どのように扱われますか。

A6：認定対象の単位として扱います。

履修科目について

Q 7 : 過去の年度と今年度で履修科目が変わっているがどうすればいいでしょうか。

A 7 : 申請した年度の履修科目一覧に沿って履修してください。

Q 8 : 教育学部の専門科目を取得する必要がありますが、特別な手続きは必要ですか。

A 8 : 必修2科目は教育学部で対応しています。また、人文社会科学部の選択科目も教育学部で対応しています。理学部・農学部・人文社会科学部の方は、他学部の科目を履修するための手続きが必要な場合がありますので、各学部学務係窓口にて確認をしてください。

Q 9 : 選択必修科目で抽選に落ちたらどうすればいいですか

A 9 : 学際科目については、防災マイスターを希望しているからといって、抽選が優先されることはありません。しかしながら選択必修科目は4科目あるので、特に問題はないかとは思いますが、もし、4年進級時点で選択必修科目が取れていない場合は、防災総合センターにご相談ください。

Q 10 : 履修計画登録時と違う科目を資格認定に使用しても大丈夫でしょうか

A 10 : 大丈夫です。但し、単位修得は計画的に行うようにしてください。

Q 11 : 大学院生ですが、今までまったく防災マイスターに関する単位を取っていません。0からでも取得することは可能ですか

A 11 : 可能です。ただし、学部授業の取得単位数の上限は16単位のため、他に自分が必要な単位を考えて計画的に履修するようにしてください。

Q 12 : 他学部の選択科目を履修できますか。

A 12 : 科目によっては基礎知識を学んでいることを前提に開講しています。希望する担当教員から履修の許可をいただければ可能です。

その他

Q 13 : 最終レポートとして課される課題はどのようなものですか

A 13 : レポートは卒業年次に提出していただきます。レポート課題については、後日HPにアップします。内容としては、学んだ知識を職業や地域の生活にどのように生かすかをまとめてもらうものになります。但し、予備審査の後で、再提出を求めることもあるため、その点は心しておいてください。

Q 14 : 知事認証とは何ですか

A 14 : 静岡大学防災マイスターを取得すると、一定条件を満たすことによって、静岡県知事認証「静岡県ふじのくに防災マイスター※」を取得することが可能です。

静岡県ふじのくに防災マイスター※(知事認証)とは？

切迫性が指摘されている東海地震等大規模災害発生時に、自らの判断で的確な行動をすることのできる知識及び技術を持ち、自主防災組織のリーダーとなる人材や、次世代の地域防災の担い手などを育成し、もって地域防災力の充実・強化を図ることを目的として設定されたものです

※ (2017年4月現在の名称)